

会 議 議 事 録

会 議 名	令和3年度 第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	令和3年 11月1日 (月) 18:00 ~ 19:00	
会 場	専門学校東京工科自動車大学校 123教室	
参 加 者	委員 (敬称略)	8名 (出席:8名)浅古純一・田中広美・木村友子・荻原嘉彦・鈴木賢司・ 嶋田章二・森田憲・吉本敏久
	事務局	3名 佐々木章・松村道隆・園田幸祐・吉岡晃
会 議 録	<p>1. 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に向けて校長佐々木より挨拶があった。 <p>2. 委員会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より参加者の確認が行われ、委員8名全員出席により本委員会の成立が承認された。 <p>3. 議長及び書記選出</p> <p>本委員会の成立を受け浅古委員が委員長として立候補、書記として田中広美委員が立候補し、委員より承認が得られた。</p> <p>4. 議事</p> <p>①前回議事録確認(事務局)</p> <p>事務局より前回議事に関して説明がなされ、各委員からの承認を受けた。</p> <p>②コロナ禍における授業の取り組みについて(園田)</p> <p>園田委員より、今年度実施している感染予防対策の内容について説明があった。 宿泊を伴う行事(研修)の中止、登校時の検温、室内換気、手指消毒、3密回避など。 また、職域接種を実施し、希望学生、保護者、関連企業、近隣居住者のワクチン接種を行ったことを報告した。</p> <p>③R3年度の取り組みに関する進捗状況(園田)</p> <p>園田委員より以下の実績報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度事業計画数値に対する進捗状況 ・就職内定状況 <p>11月1日現在、当年度卒業対象者の内定率は93%で、9名が未内定。 3名レース業界への希望者と留学生6名が現在活動中。 次年度対象者については、各期の就職プログラムを終え、1/18東京ビックサイトでの合同企業研究会にて活動開始予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業連携実習 <p>マツダセミナー、日産EVセミナー、メンテ科車検実習、1級4年生の企業インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修(FD) <p>教員課程研修会(吉岡)、留学生生活指導研修(北村)などの研修参加及び</p>	

学内での教職員研修実施予定について説明した。

・その他教育目標

資格取得率、進級卒業退学率目標、学生アンケート、AG評価など

④文部科学省委託事業 先端技術利活用実証研究について(佐々木)

佐々木校長より、今年度より受託した文部科学省委託事業について、2年目の進捗状況について報告がなされた。

また、今年度より高専一環教育プログラム開発に向け練馬工業高校との調印がされたことを報告した。

⑤2021年度学校関係者評価委員会の進め方(事務局)

事務局より、今年度の日程について説明。次回は3月に自己点検評価報告を各委員に郵送することを確認した。

⑥その他 意見交換

→ 東京スバル嶋田委員:今年度留学生を32名採用した。今後在留資格変更等の申請手続を行っていく。今後も留学生の採用を続けていきたい。

→ 東京マツダ森田委員:今年度の採用予定数は達成できた。その内2名が六郷工科高校の自動車科であった。今後は専門学校で2級を取ってから入社することを勧めたい。

→ モビリティ東京鈴木委員:ニュース等で周知の通り、不祥事によって業界全体に迷惑をかけた。現在はスタッフ全員で一丸となり改善に向け取り組んでいる。

留学生に関し、70名在職しているが、同じ国の社員同士母国語で会話をしまい、日本語の上達に支障が出ている。接客まではできない状況にある。

※佐々木校長 留学生の日本入国者数がコロナの影響で減少しており、これから数年は我慢の年となる。就職者数も減少する。留学生は入国後日本語学校にて半年以上日本語を学習した上で専門学校に進学するが、授業のオンライン化等の影響で日本語レベルも低下している現状である。

→ 振興会吉本委員:今年もマイカー点検教室が中止になったが、子ども向けの点検教室も中止している。今は同業種の仲間にも会うことができないでいる。

また、特定整備が始まって1ヶ月たったが、各社色々な問題が発生していると思う。

→ 保護者木村委員:高校時代は良く遅刻していた息子が今は遅刻せず毎日通学している。実習授業は楽しく、家でも良く話題となっている。しかし講義は難しい。友人に聞くなどして学習しており、また、授業後すぐに復習をしてくれるので理解しやすいと言っている。

→ 保護者田中委員:4年間委員を務め最後の委員会となったので感慨深い。4年間息がお世話になったこと感謝している。

→ 町内会荻野委員:町会活動が全くできておらず、学校との繋がりもほぼなく残念である。来年度に期待したい。

5. 事務局連絡

6. 閉会

以上

会議風景

